



商店街と共生する  
町内会の課題と展望  
原町田四丁目第一町内会

加入に関するお問い合わせ 町田市町内会・自治会連合会 042-722-4262

町内会・自治会の存在が大きくクローズアップされている。それは、阪神・淡路大震災や東日本大震災で、町内会・自治会が重要な役割を果たした事例が多く報告されているからだ。

町田市にある町内会・自治会の総数は現在310で加入率帯率は平均約54%だ。そんな中、加入率90%という町内会がある。



会長の三橋 良二さん

は商店主でなければ知らないことが多い。

国 鉄原町田駅を中心に古くから栄えてきた原町田四丁目。江戸時代から続く老舗がビルへと形を変え、新店舗が入れ替わり立ち替わり出店する。一方で高層マンションが建設され街の様相は著しい変貌を見せている。原町田四丁目第一町内会だ。加入率は90%と高いが、実際に活動しているのは昔から続く商店主たちが殆どで、マンションの住民は少な。マンションの管理組合と町内会の区別がついていない会員もいるという。

町 内会の大きな活動の一つに町田天満宮例大祭のお神輿がある。先祖代々、お神輿を守り継いできた。神酒所が出来れば奉納するが当たり前という習わしも今で

「数年前まで頭を悩ませていた商店街の落書きも、パトロールの強化や防犯カメラの設置あとシャッターの絵が完成したお陰で近年は殆ど無くなりました。ただ、場所柄、風紀や騒音の問題も気がかりですね。マンションには小さいお子さんも沢山住んでいますから。そう語る会長の三橋良二さんは明治15年に創業した老舗お茶道具店の四代目だ。

一番の課題はマンションの住民の参加が少ないということだ。前会長の河原さんは「私たちは昼間はいるけれど、夜から朝までの様子は殆ど分かりません。そこに暮らす人たちが問題意識を持って参加してくれないと、町内会やこの街は良くならないと思うんです。」

商

店会長を兼務する副会長の高橋さんは、老舗酒屋の3代目だ。現在は貸しビル業に転換し、同エリアの高層マンションに住居を移した。マンション住民の参加が少ないことを肌で感じているだけに、商店会で子ども会や母親たちとの接点が増えてきたことをなんとか町内会へ繋げられたら、と期待を寄っている。

マンションに住みながら、町内会に参加する副会長の小川さんは実に稀少な存在だ。既に成人したお子さんが子ども会に参加していた頃、その手伝いで町内会に関わるよ



The Machibito — Chikini Ikiru

うになった。ただ、現在でも同じマンション内で面識があるのは両隣の世帯だけだという。

町内会エリアで店を経営し、別の場所ですら役員はこう警鐘を鳴らす。「ここで生まれた最後の世代である私たちがなくなった後が本当に心配です。ここで生まれていない我が子もたちらには別の地元があります。だからここに愛着はなく、店を継いで町内会に参加するかというとそれは期待できません。マンションの人たちも町内会に参加しない、では誰が町内会を動かすのか。住んでいる方々が積極的に参加してくれないと、町内会は成り立たなくなってしまうです。」

マンションに暮らす住民の参加「こそが町を良くするポイントだ。賑わいが創出される一方で、住民の繋がりが希薄になっている現実を呑み込みながら、町内会は解決の糸口を探っている。



副会長の高橋 宏明さん



A. 店舗とマンションが同居する原町田四丁目の商店街 B. 落書き対策でシャッターに絵を描いた町内会館 C. 毎年、秋分の日近くの週末は法被を着た人々で町は更に活気づく